

大学情報入試の動向

編集にあたって

筧 捷彦 坂東宏和 和田 勉 | 情報入試委員会

2025年度から
大学入学共通テストが変わる
— 2022年度施行の新学習指導要領に対応 —
— 情報科を加え7教科に —

この特集が会員の手元に届くと、その1年後には情報科も加わった新しい編成の大学入学共通テスト（以後、共通テストと略記する）が行われる。

2022年度に施行された高等学校学習指導要領^{☆1}では、各教科の科目構成や学習内容がそれ以前の学習指導要領から種々変更された。その1つに、情報科が必修科目「情報Ⅰ」と選択履修科目「情報Ⅱ」の構成となったことがある。

この学習指導要領にしたがって高等学校での学習を行った生徒が大学進学するに際してその学習成果をテストする共通テストにも、2025年度から変更が行われることになった。そこでは、これまでの国語・地理歴史・公民・数学・理科・外国語の6教科に加えて、情報科が追加され、出題科目を「情報Ⅰ」とするテストが行われることになったのである^{☆2}。

共通テストは、その年度に大学入学を目指す高校生・高校卒業生が主として受験する。2025年度実

施の大学入学共通テストの情報科テストでは、経過措置として、2022年度施行以前の学習指導要領に従った情報科の科目構成と履修内容に即した問題が別に用意されることになっている。

情報科と「情報Ⅰ」の位置付け

高等学校での学習は高等学校学習指導要領に準拠して行われる。教科として国語・地理歴史・公民・数学・理科・保健体育・芸術・外国語・家庭・情報・理数に分けて科目と標準単位数とが示されている。これらのうち、すべての生徒に履修させる（必修）教科・科目の組合せが指定されている。必修対象の教科とその科目組合せの最低単位数^{☆3}（括弧内に示す）は次のとおりである。

国語(4)、地理歴史(4)、公民(2)、数学(3)、理科(4)、保健体育(9)、芸術(2)、外国語(3)、家庭(2)、情報(2)

^{☆3} 高等学校では、1単位時間を50分として35単位時間の授業を1単位といい、卒業までに74単位の履修を要する。したがって、2単位は50分×35×2=3,500分、多くの大学での2単位授業は90分×15=1,350分である。

補註:学習指導要領では、高等学校における情報教育が必修の「情報Ⅰ」だけで行われるのではなく、「生徒の発達の段階を考慮し、言語能力、情報活用能力(情報モラルを含む。)、問題発見・解決能力等の学習の基盤となる資質・能力を育成していくことができるよう、各教科・科目等の特質を生かし、教科等横断的な視点から教育課程の編成を図る」ように、その総則の中で各学校に求めている。ただし、共通テストでの「情報Ⅰ」は、あくまで科目「情報Ⅰ」での学習成果を問うものである。

^{☆1} https://www.mext.go.jp/content/20230120-mxt_kyoiku02-100002604_03.pdf

^{☆2} https://www.dnc.ac.jp/kyotsu/shiken_jouhou/r7/

情報科には「情報Ⅰ」と「情報Ⅱ」（各2単位）が置かれているが、「情報Ⅰ」が必修と指定されている。

「情報Ⅰ」の内容と共通テスト

学習指導要領には、「情報Ⅰ」で学ぶ内容を次の4項目に分けて示している。

- 情報社会の問題解決
- コミュニケーションと情報デザイン
- コンピュータとプログラミング
- 情報通信ネットワークとデータの活用

各項目については、学習指導を通して育成を目指す資質・能力として、知識・技能と思考力・判断力・表現力等とが書かれている。

学習指導要領の総則には、高等学校では次のことを偏りなく実現できることを目指すように求めている。

- 知識および技能が習得されるようにする
- 思考力、判断力、表現力等を育成する
- 学びに向かう力、人間性等を涵養する

これを受けて、共通テストの「情報Ⅰ」でも、知識・技能にとどまらず、思考力・判断力・表現力等までを問うこととしている。

この特集の構成

この特集は、本会情報入試委員会が企画立案して5編の解説記事としてそれぞれ同委員会の委員が執筆したものである。

大学情報入試の概要

2022年からの学習指導要領で必修科目「情報Ⅰ」が誕生するに至るまでの時期に、並行して、小学校・中学校・高等学校に至るまでの情報教育の推進の動きがあり、また、高大接続改革の中で大学入試センター試験が共通テストに切り替えられた。その共通テストに「情報Ⅰ」が加えられるに至ったのである。こうした一連の流れについて解説する。

国公立大学における情報入試

国公立大学が、2025年1月の共通テストの結果をどのように入学者選抜に組み入れようとしているか、また、独自試験としての情報入試や入学後の学生に対する情報教育をどのように展開しようとしているのかについて解説する。

私立大学における情報入試

私立大学が2025年度以降の入学者選抜に情報入試をどのように組み入れようとし、また、入学後の

情報教育をどのように展開しようとしているかについて解説する。

高等学校から見た情報入試

高等学校での「情報I」の実施状況、および2025年1月の共通テストに向けての準備状況について解説する。

情報入試委員会の活動

本会情報入試委員会の設置に至る経過と、委員会

の活動方針と活動内容を紹介する。

高等学校や大学の動きは、それぞれの筆者および情報入試委員会で知り得た事柄の範囲でとりまとめていただいたものであるため、カバーしきれないことがらも多々あることをあらかじめお断りしておく。

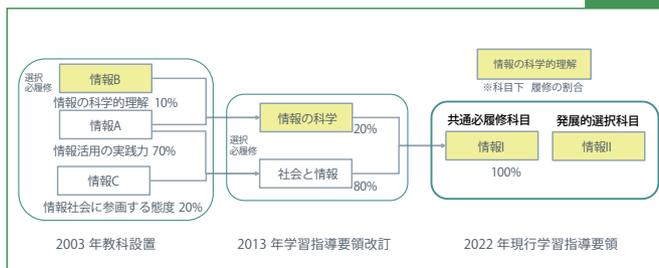
この特集号が読者それぞれにとって役立つことを願っている。

(2023年12月4日)

1 大学情報入試の概要

角田博保 | 電気通信大学

大学情報入試にかかわる事項の概要について解説する。まずは、高等学校の情報科がどのように進展してきたかを学習指導要領改訂の歴史を基に眺める。続いて、大学入学共通テストとして「情報」が出題されるようになるまでの経緯、「情報」導入がいつ提案され、科目名が決まり、共通テストでの出題がどう提案されてきたか、いつ確定し、細かな状況がどう定まってきたかを述べる。最後に、出題される入試問題に関して解説する。



2 国公立大学における情報入試

小宮常康 | 電気通信大学

2025年度入試より大学入試共通テストの出題科目に「情報I」が追加される。国立大では原則として情報Iを加えた6教科8科目を課す基本方針があるので採用率は高いが、情報Iの扱い(配点比)は大学/学科によってさまざまである。本稿では、いくつかの国公立大学を対象に「情報I」の配点、情報に関する個別入試の実施予定等を解説する。

1 次の文章を読み、問い(1)~(5)に答えよ。

AさんとBさんは、ある高等学校のデジタル部の部長で、Aさんは日本の先輩である。

A「どう、部室のネットの再設定できた?」

B「できました。これでインターネットにつながるはずですが、このネットには、(IPv6アドレスを先取ったために)接続する機器も無線LANのアクセスポイント機能も付いているのでね。」

2 次の文章を読み、問い(1)~(3)に答えよ。

AとBが次のようなゲームを行う。ゲームを行う個数は、同じ大きさの正方形が複数並べて構成されている。個数全体の半分が両方共有することで成り立つわり、そこに欠かされていることもある。問いは箇条書きである。

図1 個数の例

AとBはAを先手として、次の順番に従って、交互に線を引き、

- マス目の縦目に対して、水平方向に縦線方向に線分を1つ引く。
- 引く線分は、どちらの向きにも、個数の両端小段に引かれた線分に達するまで伸ばさなくてはならない。
- そして、個数の両端小段に引かれた線分に達したら、線分をそこの向きに伸ばしてはならない。

3 次の文章を読み、問い(1)~(5)に答えよ。

1, 2, 3, 4, 5, 6の数字をそれぞれ1回ずつ用いて、数字の前の並びが存在。この並びとして作られた数字の並びを[123456]のように書き、[123456]と並び「並び」と呼ぶことにする。同じ数字を2回以上使った[1123456]などは考えない。並びの大小関係は、並びをその右から左へ順に比較して決めた場合の大小関係とする。例えば、[123456]と[2312456]では、[2312456] < [123456] となるので、[123456]の方が大きいと考え、並びの中で、最も小さいものから順に4番目までは、以下のようになる。

最も小さい並び [123456]
 2番目に小さい並び [123465]
 3番目に小さい並び [123546]
 4番目に小さい並び [123564]

(1) 最も大きい並びを答えよ。
 (2) 4番目に小さい並び[123564]に続く、5番目から7番目に小さい並びを答えよ。



概要

3 私立大学における情報入試

谷 聖一 | 日本大学

私立大学の入学者選抜における教科「情報」の利用等について概観する。まずは2024年度までの私立大学入学者選抜における「情報」の状況を振り返り、次に新学習指導要領で学んだ生徒を対象とした入学者選抜が始まる2025年度を控えた私立大学をとりまく状況を説明する。その上で、2025年度入学者選抜において私立大学がどのように教科「情報」を活用するのか実例を示し紹介する。



4 高等学校から見た情報入試

稲垣俊介 | 東京都立神代高等学校

令和7年度の大学入学共通テストに「情報I」が導入されることは、高校の情報教育に新たな局面をもたらす。この変化は、教育内容の強化と情動的思考力の育成に焦点を当てると同時に、社会全体の情報教育にも影響を及ぼす。本稿では、歴史的背景を踏まえ、高等学校での情報教育の歩みとその未来に対する期待を探る。本研究は、情報Iの導入が高校教育と社会に与える影響を検討し、情報教育の重要性と将来の展望を提示する。



5 情報入試委員会の活動

辰己丈夫 | 放送大学

情報入試に関する本会の取り組みの経緯、目的について述べる。また、情報入試において出題される範囲などについて述べる。

